



か
ら
た
ら
ち

か
ら

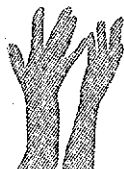


「からたち」

2012年 Sentival の一環として木野が発表、好評を得た作品。自分の人生と巣鴨教会の歴史を重ね合わせながら語り、踊る演劇要素を含む。すべての人生は星のようにきらめいている。東日本大震災をうけて作成したボディワークと語りのワークショップ Amanogawa プロジェクトの参加者を巻き込み、ろうそくの光を効果的に用いて基督教の伝搬を構成した。

今回は巣鴨教会で活動するコールシャンティ混声合唱団（指揮：野本明裕）にご協力いただき、「からたちから」として再構成を行う。

からたちから



巣鴨教会とは

巣鴨教会は 1876 年設立の歴史ある教会。プロテスタント改革長老派（カルヴァンをルーツとし、聖書の学びを重視する伝統が特徴）。礼拝堂の椅子は第二大戦後から使われている。1階ホールはかつて幼稚園で使われていたが、園児数の減少とともに園が閉鎖されて、現在はコールシャンティはじめとして 10 以上の合唱団の練習などに活用されている。

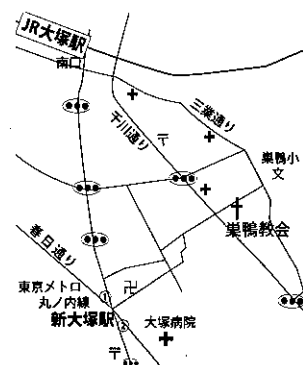
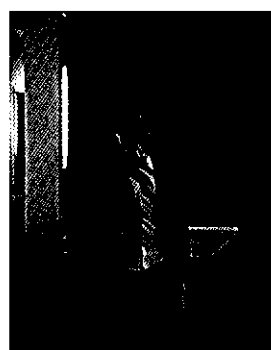
前身の「自営館」時代に山田耕筰が入館し、そのときの記憶を元に「からたちの花」（作詞北原白秋）が創られたため、教会敷地内に「からたちの花」の碑がある。なお、その碑のまわりのからたちは北原白秋記念館よりいただいた種が実ったもの。

コールシャンティ混声合唱団とは

1963 年創団、巣鴨教会を拠点に活動する混声合唱団。指揮者、指導は野本明裕氏。団のライフワークとしてトマス・ルイス・ビクトリアのミサ曲、モテットを手がける他、一般への合唱普及を目指し、日本語の歌曲も多く扱う。合唱は身体の裏付けが必須であるという考えから縄跳びや体操などのボディワークを取り入れている。毎年5月ごろ定期演奏会（北とぴあ さくらホール）を行う他、巣鴨教会のクリスマス礼拝ではビクトリアのミサ曲の中からキリエを演奏する。

木野彩子 プロフィール

札幌生まれ。大学にて舞踊教育学を専攻。“Edge”で Yokohama solo duo competition2003横浜市芸術文化振興財団賞を受賞。2004年文化庁在外派遣研修員、2005年よりロンドンにてRussell Maliphant Companyのダンサーとして活動しながら振付家としてもコンスタントに作品制作を行う。2009年より神奈川と札幌を拠点として一般へのコンテンポラリーダンス普及活動を開始。AMANOGAWA プロジェクトは川崎市アートセンターのクリエイション・サポート事業により作成。映像・写真・テキストによる記録はウェブ上で公開している。
<https://sites.google.com/site/amanogawaproject/>
木野彩子ブログ踊り日記： <http://saikino.blogspot.jp>



日程：2013年 12月 8日（日）18:30 開演
（開場は 10 分前、ロビーには 20 分前よりお待ちいただけます）

場所：日本基督教団 巣鴨教会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-13-8

料金：前売当日共に 2500 円、学生 1500 円

構成、出演：木野彩子

特別出演：コールシャンティ混声合唱団、渡辺善忠（巣鴨教会牧師）、戸井香織

宣伝美術：古里麻衣

主催：キノコチケット / 木野彩子

協力：Atelier Sentio

問い合わせ：キノコチケット kinokoticket@gmail.com

